

済生会小樽病院看護部キャリア開発ラダー評価表兼認定証 (レベル I)

|        |        |
|--------|--------|
| 承認者 課長 | 認定者 課長 |
|        |        |

A できている  
B 時々できている  
C ほとんどできていない

所属 ( ) 氏名 ( )

| レベル毎に求められる役割 |                     | チームの一員としての役割を認識する  |  | 評価者   |           |       |
|--------------|---------------------|--|--|-------|-----------|-------|
| レベル毎の定義      |                     | 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する   |  |       |           |       |
| カテゴリ         |                     | 評価内容   |  | 自己評価  | 新人教育担当者評価 | 係長評価  |
| 看護実践能力       | レベル毎の目標             | 助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる   |  |       |           |       |
|              | ニーズをとらえる力           | 1  | 助言を受けながら、診療記録上の情報を確認し、患者の訴えや観察をもとに身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 2  | 助言を受けながら、患者の状態に合わせてバイタルサイン等の観察をし、基本的なフィジカルアセスメントを行う。スピリチュアルな側面については、治療についての考え方等の情報を得ることができる                    | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 3  | 患者の状況から緊急度をとらえ、助言を受けながら緊急度に応じた観察をし、必要な情報を得ることができる  | A B C | A B C     | A B C |
|              | レベル毎の目標             | 助言を得ながら、安全な看護を実践する   |  |       |           |       |
|              | ケアする力               | 1  | 患者の状態に合わせて、助言を受けながら手順をもとに、説明を患者に行い、ケアを実施できる。   | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 2  | 患者に対して基本的な生活行動の援助を行う。重症患者や医療依存度の高い患者については、指導を受けて実践することができる   | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 3  | 基本的看護技術については、新人看護職員研修ガイドラインにおける、看護技術についての到達目標が達成できる (他部署での実施も含む)   | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 4  | 急変時には、対応の場において、流れを把握し、指示を受けながらメモをとる、バイタルサインを確認するなど、できることを探して実践できる  | A B C | A B C     | A B C |
|              | レベル毎の目標             | 関係者と情報共有ができる   |  |       |           |       |
|              | 協働する力               | 1  | 看護チームの一員であることを理解し、日々の患者へのケアを、他の看護師と協働して行う。常に自らのもつ情報を他の看護師に連絡し、患者の状態について報告し、判断できないことや経験のない処置やケアについて相談することができる   | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 2  | 多職種 (医師、看護師、専門・認定看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー、ケースワーカー、緩和ケアチーム、RSTチームなど) の役割を理解することができる                       | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 3  | カンファレンスに参加し、発言することで、自らのもつ情報を提供して関係者と共有することができる   | A B C | A B C     | A B C |
|              | レベル毎の目標             | ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る   |  |       |           |       |
|              | 意思決定を支える力           | 1  | 助言を受けながら、患者や家族 (または患者を取り巻く人々) の不安を推察し、思いを聞くことに努める必要があると気づき、思いの表出を促すことはできなくとも、判断できないことや経験のない処置やケアについて寄り添うことができる | A B C | A B C     | A B C |
| 2            |                     | 患者や家族 (または患者を取り巻く人々) の思いや考え、希望を多職種に伝える。たとえば、患者と家族 (または患者を取り巻く人々) から希望を聞き、その希望をリーダー看護師等に伝えることができる | A B C  | A B C | A B C     |       |
| 3            |                     | 看護師の倫理綱領と照らし合わせて考えることができる  | A B C  | A B C | A B C     |       |
| マネジメント能力     | レベル毎の目標             | 助言を受けながらマニュアルに沿って業務を遂行できる  |  |       |           |       |
|              | 安全管理                | 1  | 助言を受けながら院内感染予防対策の基本がわかり、スタンダードプリコーションを実施できる  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 2  | 助言を受けながら医療安全マニュアルに沿って、ルールに従い行動できる  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 3  | 助言を受けながらマニュアルに沿ってインシデント発生時の報告ができる  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 4  | 助言を受けながら災害発生時の対応が理解できる (防災訓練に参加できる、防災設備を知り、取り扱いができる)   | A B C | A B C     | A B C |
|              | レベル毎の目標             | 助言を受けながら、看護の経済的評価を理解できる  |  |       |           |       |
|              | 経営参画<br>(質の評価と業務改善) | 1  | 助言を受けながら使用後の物品の後始末ができ、定位置に整理整頓して保管できる (5S活動について理解できる)  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 2  | 助言を受けながら所属部署の物品管理について理解し行動できる  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 3  | 助言を受けながら注射・処置のコスト漏れがないように請求できる   | A B C | A B C     | A B C |
|              | レベル毎の目標             | 助言を受けながら、1日の業務に関わる時間の管理をすることができる   |  |       |           |       |
|              | 時間管理                | 1  | 時間を守る (勤務; 出勤時間・退勤時間・研修・会議・患者との約束)   | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 2  | 日常業務が時間内に終了できるように自分の行動計画を立てることができる   | A B C | A B C     | A B C |
|              | レベル毎の目標             | 守秘義務や個人情報保護について理解し、遵守できる   |  |       |           |       |
|              | 情報管理                | 1  | 守秘義務とは何かを理解し遵守できる  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 2  | 助言を受けながら共有すべき情報が何かを理解できる   | A B C | A B C     | A B C |
| 教育・研究能力      | レベル毎の目標             | 自己の課題に対して助言を受けて学習できる   |  |       |           |       |
|              | 教育・研究               | 1  | 所属部署で必要な知識や技術を自主的に学習できる  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 2  | 指導により学習課題を見出すことができる  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 3  | 疑問点を先輩に聞くことができる  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 4  | 看護実践する上で必要な書籍や文献を調べることができる (看護系雑誌を読む、e-ラーニングを含む)   | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 5  | 研修や勉強会、看護研究発表会等に積極的に参加している (参加できない場合は資料を読んで学習できる)  | A B C | A B C     | A B C |
| 組織的役割遂行能力    | レベル毎の目標             | 社会人、専門職業人としてのマナーを身につけて行動できる  |  |       |           |       |
|              | 組織的役割遂行             | 1  | 接遇・身だしなみに配慮できる (社会人としてのマナーを身に付け、言葉遣い、態度、自ら挨拶できる等)  | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 2  | 自己の健康管理を心がけることができる (ストレスを自覚したら、誰かに相談できる)   | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 3  | 職場の規律を理解し行動できる   | A B C | A B C     | A B C |
|              |                     | 4  | 自施設 (病院・看護部) の理念が言える   | A B C | A B C     | A B C |
| 評価日:         | 年                   | 月  | 日  |       |           |       |